

全日病S-QUE看護師特定行為研修

臨床推論



2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習 ケーススタディ(2)

> 筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科 前野 哲博 氏



特定行為に係る看護師の研修共通科目「臨床推論」

臨床推論 演習②

筑波大学医学医療系 地域医療教育学 前野 哲博



Department of Primary Care and Medical Education, University of Tsukuba

演習の進め方

- 1. ケーススタディ1 (25分)
 - ① 症例提示(2分)
 - ② 個人ワーク(8分) 鑑別疾患を3つ挙げ、以下についてワークシートに記入
 - ✓ 合うところ
 - ✓ 合わないところ
 - ✓ さらに必要な情報(病歴+身体所見)
 - ③ グループワーク(10分) 4人組を作り、各自のシートをもとにディスカッション
 - ④ 解説動画視聴(5分)
- 2. ケーススタディ2(25分)
- 3. 全体発表・討論(10分)



ケース2-1 48歳女性

患者:2時間くらい前、寝ようとした頃からお腹が痛み出して、

痛みが続くので、診てもらおうと思ってきました。

医療者:痛むのはどのあたりですか。どんな痛みですか。

患者:みぞおちの辺りに、差し込むような強い痛みがあります。 医療者:数分の単位で痛みが強くなったり弱くなったりしませんか。

患者:いえ、そんな感じはありません。痛みに多少の波はありますが

、ジワッと続く感じです。ただ、病院に来ようと家を出たとき

に比べると、今はいくぶん軽くなった気はします。

医療者:今まで同じような痛みを経験したことはありませんか。

患者:ここまでひどくありませんが、3か月前にもお腹が痛くなった

ことはありました。その時は1時間くらいで良くなりました。

医療者:他に症状はありますか。

患者:少し叶き気がしますが、叶いてはいません。

既往歴:特になし 生活歴:喫煙なし、缶ビール350ml/日

血圧 134/82mmHg 脈拍84回/分・整 体温36.9℃ 呼吸18回/分

Department of Primary Care and Medical Education, University of Tsukuba

ケース2-2 74歳女性

患者:この1か月、吐き気がして気持ち悪い感じが続いています。

医療者:食事はどれくらい摂れていますか。体重の変化はどうですか。

患者:食事は普段の半分くらいです。体重は3か月で4kg減りました。

医療者:腹痛や下痢はありますか。

患者:いえ、腹痛はありません。下痢も特にしていません。

医療者:実際に吐きましたか。

患者:ええ、この1週間で3回くらい吐きました。

医療者:吐いたものに血は混じっていませんでしたか。

患者:いえ、それはないと思います。

医療者:頭痛や発熱など、何か他に気になる症状はありませんか。

患者:いいえ、ありません。

既往歴:骨粗鬆症と糖尿病で治療中 生活歴:喫煙なし、飲酒なし

血圧 114/70mmHg 脈拍84回/分・整 体温36.1℃ 呼吸18回/分

